

R2年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒山麓公園		
所在地	奈良県生駒市俵口町2088		
指定管理者名	モンベル・あおはに共同体	指定期間	開始日 平成 26 年 7 月 1 日
利用料金制適用区分	不適用		終了日 令和 6 年 6 月 30 日
選定方法	非公募	評価実施年	指定期間 10 年のうち 7 年目
設置目的	金剛生駒紀泉国定公園の緑豊かな自然環境の中で、市民の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供される市内有数の公園で、ふれあいセンター、野外活動センター、フィールドアスレチック、テニスコートなど公園内に設置し、市民の福祉の増進と生活文化の向上に寄与することを目的としている。		
主な実施事業等	生駒山麓公園運営（指定管理＝公園部分、テニスコート。自主事業＝フィールドアスレチック、野外活動センター）、ふれあいセンター運営（指定管理＝温浴施設、研修室。自主事業＝売店。占用事業＝レストラン）、市民対象イベントの実施		

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
フィールドアスレチック	人		47,871	0.67	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業及び利用控えのため。
野外活動センター	人		23,335	0.49	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業及び利用控えのため。
ふれあいセンター研修室	人		3,286	0.26	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業及び利用制限のため。
ふれあいセンター浴場	人		44,791	0.59	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業及び利用控えのため。
テニス	人		21,184	0.92	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業のため。

3 事業収支

(千円)

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	248,180	214,309	236,838
指定管理料		174,509	168,418	172,935
利用料金収入	C	0	0	0
自主事業収入		73,671	45,891	63,903
その他		0	0	0
支出計	B	246,720	235,678	236,806
指定事業費		174,509	168,418	172,935
うち人件費	D	55,597	53,718	54,218
うち再委託料	E	55,411	42,963	51,480
自主事業費		72,211	67,260	63,871
事業収支	A-B	1,460	-21,369	32
利用料金比率	C/A			
人件費比率	D/B	0.225	0.228	0.229
再委託費比率	E/B	0.225	0.182	0.217

補足説明(必要に応じて記入)

事業報告(実績)には、占用事業(レストラン事業)の実績は含みません。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて各施設を臨時休館としたことに伴い、指定管理料を減額しました。

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート、意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等		対応実績等
	①市内住所が記載された運転経歴証明書所持者が同乗する車両についても、駐車料金の減免対象にして欲しい。 ②浴場脱衣所ロッカーの鍵紛失保証金をもっと安くして欲しい。 ③テニスコート芝生の芝生に穴が空いている。 ④テニスコートの夜間照明について、利用者間の照明点灯用鍵の引継ぎが確実に行われるよう、ルールを改めて欲しい。		①市担当課と減免のルールについて協議を行った。 ②市担当課と鍵紛失時の取扱いについて協議を行った。 ③修繕料にて修繕を行った。 ④市担当課と協議の上、ルールを改めた。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	令和元年度に引き続き植栽面積を拡大し、新たな障がい者団体にその管理業務を委託した。加えて、多目的広場の管理業務に関しても、障がい者就労へと移行することができた。
市の評価	障がい者就労の場を広げるという目的だけでなく、指定管理業務を効率よく実施するために、業務内容を精査しながら適切に管理運営を行っています。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	申込者多数となる土日祝日のテニスコートの利用や自主事業イベントである「こどもキャンプ事業」については、抽選会にて利用者を決定し、公平性を維持した。利用者間のトラブルの仲裁を行うことも少なくなかったが、双方のご意見をしっかりと聞き取り、ルールに基づき公平な立場で対処するよう心がけた。
市の評価	公平な立場でルールに基づき対処することに加えて、利用者のご意見とその背景に寄り添って対応してください。また、その都度、ルールの在り方に立ち返り、必要に応じて市と協議してください。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	駐車場の無料処理をはじめ、公園運営のルール改定を求めるご意見を多数いただいた。お客様に対して現状のルールを丁寧に伝え、理解を得られるよう努めた。一方で、お客様の便益向上や平等なサービス提供につながると考えられるご意見については、市担当課とルール改定の必要性を協議するようにした。
市の評価	引き続き、法令をはじめとした公園運営に関わるルールについて、それが定められている意義を読み解きながら利用者に説明するよう努めてください。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	以前より利用がほとんどなかったカラオケサービスについて、市と協議の上で廃止することとした。また、有料施設入場者向けに加入していた傷害保険の内容を見直した。これにより削減した経費を公園活性化費用に充てた。
市の評価	公の施設としてその行政サービスが継続すべきものか、廃止することができるものかを考えながら管理運営にあたるできています。施設の継続運営に経費の縮減は不可欠であるため引き続き取り組んでください。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	施設をワーケーションの場として新たに売り出すこととした。観光協会の協力のもと、ワーケーションの体験会を実施し、案内パンフレットの配布も開始した。まだまだ目に見える効果は得られていないが、ワーケーション利用の促進につながるような施策を引き続き検討していきたい。
市の評価	新型コロナウイルス感染症拡大に伴って、市民が公園に求めることが変化しています。その中で、市と連携しながら様々な事業に取り組んでいる点を評価しています。今後は、民間団体との協力も視野に入れ、公園全体の魅力向上に努めてください。

適正な施設の管理運営（適正性）

施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）

指定管理者による自己評価

令和2年4月より人員を1名増やし、お客様へより細やかなサービス提供ができる体制を整えた。広報活動については、令和元年度同様、学校団体や旅行会社等におすすめプラン等を掲載した施設紹介資料を送付し、新規団体の利用促進に努めた。また、指定管理者代表団体モンベルの直営店舗に施設案内を配架し、指定管理者のネットワークを生かした集客にも力をいれた。

市の評価

減少した利用者数の回復を目指すための取組に対して得られた効果も把握し、必要に応じて取組の修正を行ってください。また、昨年の評価にも記載したとおり、生駒山麓公園の大きな魅力の一つに自然豊かな景観があるので、定期的に魅力の周知を行ってください。

自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）

指定管理者による自己評価

GoToトラベル事業をはじめ、国や地方自治体が実施する利用促進キャンペーンに積極的に参画し、新型コロナウイルス感染症拡大によって落ち込んだ売上を回復させることができた。老朽化により閉鎖していた野外活動センター内の常設テントサイトについて、市の協力のもと、ウッドデッキサイトとして新たに利用を開始した。

市の評価

アウトドア活動への需要がコロナ禍で高まる中、野外活動センターなど施設面を充実させて利用者を迎え入れることができています。自主事業として行うイベント内容についても、利用者のニーズを考慮して変更を加えながら実施してください。

安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）

指定管理者による自己評価

利用者が安心して施設をご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に重きをおいた運営を行った。市と密にやり取りをしながら、必要備品の手配・設置や、感染拡大状況に合わせた施設の休業や利用制限など、柔軟かつ速やかな対応を心がけた。

市の評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止策について適切に行うことができています。今後も状況の変化に柔軟に対応してください。また、個人情報が掲載されている書類の管理方法などの重要事項については従事職員で必ず共有してください。

サービスの安定的な提供（安定性）

事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）

指定管理者による自己評価

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、園内全施設の売上が前年度に比べて大きく減少した。自主事業に関しては、売上減少に伴い大きな赤字が生じていたことから、野外活動センターにおいて料金改定を行う決断を下した。事業継続のために不可欠な値上げではあるが、お客様に納得いただけるよう、サービスの質の向上に関しても併せて取り組みたい。

市の評価

野外活動センターにおいては値上げに見合った事業運営を行うとともに、最小の費用で最大の効果が得られるように努めてください。自己評価にあるように、園内の各施設ともに売上は減少傾向にあるため、法令等遵守を徹底した上で、前例にとらわれず、新たな事業を展開してください。

社会福祉施設に準じた評価

施設の設置目的の達成（有効性）

施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）

指定管理者による自己評価

公園内整備等業務や花苗栽培及び植栽、レストラン業務、厨房内での調理業務また、アスレチック受付等を通じ、障害のある方それぞれの状況にあった福祉支援を提供している。育苗用ビニールハウスを増設するなど、これらの業務を活性化することで工賃を得て、働くことに対する意識化を高めるとともに、積極的な社会生活が営める機会となっている。

市の評価

レストラン事業については、コロナ禍においても就労支援につながる様、創意工夫されており評価できます。今後においても都市公園法を遵守し適切なレストラン運営に努めてください。また、公園内整備業務等、屋外での業務においては、熱中症等事故防止に留意してください。

利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）

指定管理者による自己評価

利用者個人がいきいきと活動し役割を獲得する就労支援等の福祉支援状況について、保護者や福祉関係者に対し情報発信することにより、相談機関や特別支援学校、また個人から多くの新規利用希望を頂戴するに至った。福祉事業規模を年度中に拡大し定員50名の事業所として指定変更した。

市の評価

就労支援等の福祉支援状況について、積極的な情報発信により、相談機関や特別支援学校からにとどまらず、個人からの新規利用希望を多数受けており評価できます。今後も一般就労に向け、軽度から比較的重度の利用者まで幅広い就労支援を提供できるよう環境整備に努めてください。

適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の実施状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	充実した福祉支援の提供のために、法定職員配置数以上の職員を配置し、きめ細やかな対応を心掛けている。また、職員の支援技術向上のために、内部研修を積極的に行っている。地域との連携として、飲食提供品の一部に地元産の原料、加工品を使用したメニュー提供等はコロナ禍のため積極的には実施していない。
市の評価	職員の配置数や研修等を通じ、引き続き支援の充実に努めてください。地元産の原料、加工品を使用したメニュー提供等については、コロナ禍の今後の動向にもよりますが、引き続き地域との連携を模索し取り組んでください。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	福祉サービス利用者の個人情報に関しても、個人情報保護法に則った管理を徹底し、不備なく実施している。また、傷病等発生時について協力医療機関との連携や、新型コロナウイルスも含めた対応マニュアルを整備している他、これらの記録や運用する職員研修など実施している。
市の評価	個人情報の管理にあたっては、生駒市個人情報保護条例等の規定に従い、適切な管理を行ってください。特に障がいを持つ方が利用者となるべき点で利用者の想いに寄り添い細心の注意を払ってください。また、事故対応や新型コロナウイルス対策を含む危機管理体制についても万全を期すようにしてください。

6 指定管理者の財務の状況

株式会社モンベル

非公表

社会福祉法人青葉仁会

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資産	3,903,695	4,007,909	4,297,586
流動資産	536,027	743,196	633,911
固定資産	3,367,668	3,264,713	3,663,675
負債	143,469	136,365	143,350
流動負債	143,469	136,365	143,350
固定負債	0	0	0
純資産	3,760,226	3,871,544	4,154,236
資本金	3,760,226	3,871,544	4,154,236
売上高	1,372,279	1,477,683	1,617,510
経常利益	32,981	136,330	274,467

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

株式会社モンベル

非公表

社会福祉法人青葉仁会

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
自己資本比率 純資産/資産×100	96.3%	96.6%	96.7%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	3.8%	3.5%	3.5%
固定比率 固定資産/純資産×100	89.6%	84.3%	88.2%
流動比率 流動資産/流動負債×100	373.6%	545.0%	442.2%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	89.6%	84.3%	88.2%
総資産回転率 売上高/資産×100	35.2%	36.9%	37.6%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	0.8%	3.4%	6.4%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価

指定管理事業の経費の削減に尽力し、余剰経費については植栽事業の拡大に充当することで、公園の魅力をさらに向上することができました。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、各施設の利用者は前年度に比べて大きく減少する結果となりましたが、お客様に少しでも良いイメージを持って帰っていただけるよう、引き続き環境整備に力をいれていく所存です。障がい者就労支援事業については、業務の幅・規模ともに拡大することができ、目標達成に向けまた一步近づくことができました。感染症拡大の影響で、令和3年度も利用控え及び売上の低迷が続くことが予想されますが、コロナ禍でも安心して活動できる環境やイベントをお客様に提供し続けることで、市民の憩いの場としての機能を保持し、利用者数の回復にもつなげていきたいと考えています。

市の評価

新型コロナウイルス感染症拡大に伴ない施設運営が制限される中で、滞りなく指定管理業務を遂行できたことを評価しています。また、障がい者就労支援事業についても前向きに事業の発展に取り組むことができています。一方で、コロナ対策に万全を期して利用者数の回復を図るという大きな課題もあります。課題解決に向け、既実施のイベントに加えて、占用事業であるレストランの利用促進にも注力し、生駒山麓公園の魅力をこれまで以上に周知してください。また、本公園は総合公園であり、市内広域に渡る市民を受け入れる施設です。そのため、標準的な施設利用の他に市民による園内でのイベント実施等、様々な利活用が想定されることから、指定管理者としてそれらと協働し、公園の魅力向上に努めることを期待します。